

Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～

雄武町副町長

佐々木 幸博さん



「町長と共に夢と希望を持てるまちづくりを目指します。」
町職員として38年間勤め、保育所長、財務企画課長などを歴任し、3月の町議会定例会での決議を受け、4月1日から副町長に就任されました。

副町長の打診を受けたときは、自分に重責が勤まるだろうかと戸惑いが大きかったと話します。

「雄武町に生まれて、雄武町に育てられた自分が、この町に恩返しできるのなら」と悩んだ末に、打診を受けることを決めたと心内を教えてくださいました。

「若者がチャレンジできる環境を作り、そして次の世代が、夢と希望を持てる町を作っていきたいです」

「人口減少、少子高齢化、雇用機会の減少など、全国的な町村の課題にしっかりと取り組み、それに合わせて、町民の皆さんが日々生活して

いく中で困っていること、行政に望んでいることを現場に赴き実際に見て聞いて、今までの経験だけではなく、まささらな気持ちで皆さんから話を聞いていきたいです」と副町長としての思いを力強く話してくれました。

「誰かが声を上げたとき、共感する仲間が集まって、「コミュニティ」ができます。それをまとめる人材の育成を行っていきたいです。そして、その地域の声が行政に届くこと。それが良いまちづくりにつながっていくと考えています。共助の考えで、お互いがお互いを支え合うことができれば、人口減少にも負けないまちづくりができるのではないかと思います」と今後のまちづくりにおいて重要な事項を話してくれました。

「まずは、町民の皆さんに顔と名前を憶えていただきたいと思います」と話す中にも、今後の町政運営に向けての強い決意が伝わってきました。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

◆編集後記

Editor's note

▼例年よりも流水が長くいて寒い日も続きましたが、家の横にあった雪山も日を追うごとに小さくなっていき春の訪れを感じます。通勤路でも雪の合間からフキノトウが顔を出していました。世間的に暗いニュースも多いですが、春は芽吹き季節です。私もエネルギーに頑張ります。(大辻)

▼4月といえば、新生活や新学期など、変化が多い月ですね。旧暦の卯月も、稲穂を植える時期であることから「植月（うつき）」稲種を植始める月という意味が転じたという由来もあるそうです。今年度は、私もなにか新しい「新」を初めて見たと思っています。(結城)